

ラトビア月報

【2024 年 8 月】



2024 年（令和 6 年）9 月発行

在ラトビア日本国大使館

<http://www.lv.emb-japan.go.jp/>

主な内容

【政治】

- ・ カリンシュ前首相は国会議員を辞職 (P. 1)

【経済】

- ・ 2024 年第 2 四半期のラトビア宿泊施設利用者数は前年同期比 11.6%増
- ・ 「Fibenol Latvia」社はバイオリファイナーリーの建設予定地として「Valmiera Industrial Park」を選択 (P. 2)

【外交】

- ・ リンケービッチ大統領の「バルトの道」35 周年式典出席
- ・ スプルーズ国防相のウクライナ独立記念式典出席 (P. 4)

【その他】

- ・ 男子ビーチバレー欧州選手権でラトビアは金メダルを獲得
- ・ 政府関連機関等のウェブサイトにはサイバー攻撃 (P. 7)

※「ラトビア月報」は、ラトビアにおける政治・経済状況等について、ラトビア政府発表や各種報道等の公開資料（原則として該当月の月末までの情報）を取りまとめたもので、在ラトビア日本国大使館の見解を述べたものではありません。月別の時事情報として御参照いただければ幸いです。

— 政治 —

【今月の注目記事】

◆カリンシュ前首相は国会議員を辞職

8 月 29 日、カリンシュ前首相（その後外相）は、外国の民間企業より職のオファーがあったため、国会議員を辞職した。同氏は首相であった時の高額なチャーター便利に関するスキャンダルを理由に 4 月に外相を辞任して国会議員に復帰していた。

◆ラトビアの年末までの国防費の総額は GDP 比で 3.2%

8 月 13 日、財務省によると今年末までの国防費は対 GDP 比 3.2%に達する予定。財務省のデータによると、2024 年の国防省の支出は対 GDP 比 2.4%であるが、国防省は軍需品購入のために追加で 2 億ユーロを受けとる予定。従って、2024 年末までの国防のための総費用は対 GDP 比で 3.2%に達する予定。

◆所謂「モスクワの家」を競売に

8 月 19 日、ラトビア官報によると、国家不動産庁は 8 月 20 日から 9 月 19 日まで所謂「モスクワの家」（マリヤ通り 7 番地の元モスクワ市資産局の所有物件）の競売を行う。同物件の最低売却価格は 357 万ユーロで 966 平方メートルの土地も含まれる。

◆政府は財務省が策定した 2025 年予算等の情報に関して協議

8 月 20 日、政府は財務省が策定した 2025 年予算等の情報に関して協議した。これは 6 月のマクロ経済予測（※ 1）を基に作成され、2025 年予算の優先課題は安全保障であり、国家基本予算（社会保障に関する予算以外のもの）の基礎支出額（※ 2）は 121 億 9500 万ユーロ（前年比 1 億 2280 万ユーロ増）、国家特別予算（社会保障に関する予算）の基礎支出額は 47 億 5380 万ユーロ（前年比 6430 万ユーロ増）となる。財政赤字は対 GDP 比 2.6%となる予定であり、4 月の予測の 0.3%ポイント減となっている。

（※ 1）2024 年及び 2025 年の GDP 成長率をそれぞれ 1.4%及び 2.9%、2024 年及び 2025 年の消費者物価上昇率をそれぞれ 1.2%及び 2.2%と予測

（※ 2）基礎支出額とは政治的変更がないと仮定して中期的な国家機能履行を保障するために必要な金額

◆公務員給与の増加率上限を 2.6%に決定

8 月 28 日、政府は 2025 年の公共機関及び地方自治体職員等の給与支払いのための報償基金の増額幅を本年比最大 2.6%にすると決定した。但し、政府は内務省及び国防省等の職員に関しては例外を設定することができ、地方自治体も例外を設定することができる。アシェラデンス財務相によると、2023 年及び 2024 年の公共機関の職員給与は前年比でそれぞれ 15.2%及び 14.6%増額したのに対し、来年は高官及び政治家の昇給がな

いことを意味する。

◆政府はエア・バルティック社の IPO（新規株式公開）に関する条件に合意

8 月 30 日、政府は非公開の臨時閣議を開催。同閣議後にブリシュケンス運輸相は「政府はエア・バルティック社の IPO（※）の後、拒否権を行使できるように最低でも同社の株式の 25%+1 株を所有することで合意した。」と述べた。

（※）IPO（新規株式公開）は「Initial Public Offering」の略で未上場会社の株式を証券取引場に上場させること。

— 経済 —

【今月の注目記事】

◆2024 年第 2 四半期のラトビア宿泊施設利用者数は前年同期比 11.6%増

8 月 16 日、中央統計局は 2024 年第 2 四半期のラトビアの宿泊施設利用者数が前年同期比 11.6%増の約 705,600 人であったと発表した。このうち外国人は約 419,400 人（全体の 59.4%）であり、ラトビア国内からの宿泊施設利用者数は約 286,200 人（40.6%）であった。

◆「Fibenol Latvia」社はバイオリファイナリーの建設予定地として「バルミエラ産業パーク（Valmiera Industrial Park）」を選択

8 月 27 日、バルミエラ自治体は「Fibenol Latvia」社が建設予定であるバイオリファイナリーの潜在的建設地としてバルミエラ産業パークを選択したと発表した。「Fibenol Latvia」社は 7 億ユーロを投資してヨーロッパで最も近代的なバイオリファイナリーの一つをラトビアに建設する予定であり、近いうちに 26 ヘクタールの土地でバイオリファイナリーの建設に関する実行可能性の研究及び環境への影響に関する研究を開始する予定。実行可能性の研究が成功すれば、2030 年より生産を開始する予定。

◆2024 年 7 月の消費者物価上昇率は 0.7%

8 月 8 日、中央統計局は、2024 年 7 月の消費者物価上昇率が前年同月比 0.7%、前月比では 0.1%となったと発表した。7 月の物価上昇は、主に、食品・ノンアルコール飲料、アルコール飲料・たばこ製品及び運輸関連商品・サービス等の上昇の影響を受けた。

◆国家雇用庁統計：2024 年 7 月の失業率は 5.2%

8 月 9 日、国家雇用庁は 2024 年 7 月末の失業率は前月末比 0.1%増の 5.2%になったと発表した。

◆エア・バルティック社はテルアビブ便を 8 月 18 日まで運航停止

8 月 9 日、エア・バルティック社は、中東情勢悪化の可能性に鑑み、テルアビブへ発着する全便の運航を 12 日から 18 日まで停止すると発表した。6 日、エア・バルティック社はテルアビブへ発着する全便の運航を 8 月 11 日まで停止すると発表している。

◆2024 年上半期のエア・バルティック社は 8880 万ユーロの赤字

8 月 14 日、エア・バルティック社によると、2024 年上半期は 8880 ユーロの赤字（2023 年上半期は 1460 万ユーロの黒字）、売上は前年同期比 16.5%増の 3 億 3930 万ユーロになったと発表した。2024 年上半期の同社の利用者数は前年同期比 11%増の 200 万人以上となり、同期の便数は前年同期比 12%増の約 34,000 便だった。

◆中央統計局統計：2024 年第 2 四半期の失業率は 6.9%

8 月 15 日、中央統計局は 2024 年第 2 四半期の失業率は前期比 0.3%ポイント減、前年同期比 0.5%ポイント増の 6.9%であったと発表した。若者（15 歳～24 歳）の失業率は前年同期比では 7.3%ポイント増、前期比 5.0%ポイント増の 16.9%となった。長期失業者（12 か月以上失業している人）が全失業者に占める割合は前年同期比 3.4%ポイント増、前期比 3.1%ポイント増の 33.1%となった。

◆ナスダック・リガ証券取引場はラトビアガス社の株式上場を廃止

8 月 19 日、ナスダック・リガ証券取引場はラトビアガス社の申請に従い、同社の株式上場を廃止することを決定した。同社の株式は 23 日まで取引が可能。6 月 19 日、ラトビアガス社の株主は同社の上場廃止を決定した。

◆2024 年第 2 四半期の平均月給は 1,671 ユーロ

8 月 28 日、中央統計局は、2024 年第 2 四半期の平均月給は対前年同期比 9.6%（146 ユーロ）増の 1,671 ユーロ、手取りの平均月給は前年同期比 8.9%増の 1,213 ユーロになったと発表した。

◆ライアン・エアー社はリガ・ベルリン便を廃止

8 月 28 日、ライアン・エアー社（アイルランドの格安航空会社）は、ベルリン・ブランデンブルク空港の高いアクセス費用を理由に、ベルリンからリガを含む 5 都市への運航を廃止すると発表した。但し、いつから同便を廃止するかは不明。

◆2024 年第 2 四半期の実質 GDP 成長率は前年同期比 0.5%増

8 月 30 日、中央統計局は、2024 年第 2 四半期の名目 GDP は 104 億ユーロ、実質 GDP 成長率（前年同期比）は 0.5%増であったと発表した。また、前期比では 0.9%減（季節調整値）となった。部門別では、教育（対前年同期比 6.7%増）、保健・ソーシャルケア（6.5%増）及び情報・通信（5.6%増）等の部門で成長がみられた一方、金融・保険

(8.2%減) 及び運輸・保管 (7.8%減) 等では縮小した。

— 外交 —

【今月の注目記事】

◆リンケービッチ大統領の「バルトの道」35 周年式典出席

8 月 23 日、リンケービッチ大統領は、カリス・エストニア大統領とラトビアとエストニアの国境の街で会談し、同日午後には、ナウセーダ・リトアニア大統領と共に、リトアニアのパスバレで開催された「バルトの道」35 周年式典に出席した。35 年前、タリン、リガ、ビリニュスの全長 600 キロを民主主義と自国の独立回復のために、200 万人の人々が手を結び人間の鎖となった。

◆スプルーズ国防相のウクライナ独立記念式典出席

8 月 24 日、スプルーズ国防相はウクライナのキーウで開催された、ウクライナ独立 33 周年の祝賀行事に出席した。今回の訪問中で同国防相は、ウメロウ・ウクライナ国防相と会談し、ラトビアが 2025 年にドローン・コアリションに 2,000 万ユーロ拠出することを明らかにした。ラトビアとウクライナは、ドローンパイロットプログラムにおけるウクライナ兵の訓練に関する協定を締結しており、ウクライナ兵のドローンパイロットは、すでにラトビアで訓練を開始している。また、この式典に合わせ、ラトビアのドローンシステムが引き渡され、直ちに前線のウクライナ軍に納入された。

◆リンケービッチ大統領は駐スペイン・ラトビア大使などに信任状を授与

8 月 1 日、リンケービッチ大統領は、リガ城での公式式典において、駐スペイン、駐ハンガリー、駐トルコ、駐欧州評議会のラトビア特命全権大使に信任状を授与した。

◆ブラジェ外相の「2 x 2」ディアスポラ・ユース・キャンプ参加

8 月 6 日-7 日、ドイツを訪問中のブラジェ外相は、世界ラトビア青年セミナー「2 x 2」ディアスポラ・ユース・キャンプに参加中の若者に、「ディアスポラのみなさんは、ラトビアと世界各国との協力関係の強化、ラトビア国外でのラトビア語や文化遺産の保護、教育や科学の維持・育成、経済や安全保障促進において重要な役割を担っています。」と呼びかけた。このキャンプには、18 歳から 30 歳までの世界 12 カ国からラトビアにルーツを持つ 90 人の若者が参加した。現在約 42 万人のラトビアにルーツを持つディアスポラがラトビア国外に住んでおり、最大のコミュニティはイギリスにある。

◆メルバールデ外務政務官がインド商工会議所女性連合と会談

8 月 15 日、メルバールデ外務政務官は、60 人以上からなるインド商工会議所女性連合の代表団と会談した。同政務官は、インド企業のラトビアへの関心の高まり、リガのイン

ド大使館開設に見られる両国の関係発展を歓迎し、今後の経済・科学・文化分野におけるバルト地域とインドの更なる関係発展を呼びかけた。インド商工会議所女性連合は 1983 年に設立され、インド各地に 19 の支部を持ち 9500 人以上の女性起業家や専門家が会員となっている。

◆ラトビア国連代表部は武器貿易条約会議でセミナーを開催

8 月 20 日、ジュネーブで行われた武器貿易条約（ATT）の年次本会議で、ラトビア国連代表部はセミナーを開催した。同セミナーで、ラトビア外務省対外貿易・対外経済関係促進部のヤウンゼムズ部長は、包括的な平和と安全保障の目的を達成するための武器輸出管理の重要性を強調した。このセミナーは、ラトビアが国連安全保障理事会非常任理事国立候補のためのパブリック・ディプロマシーの一環として実施された。武器貿易条約は 2013 年に採択され、同年ラトビアは署名している。

◆スプルーズ国防相のポーランド訪問

8 月 21 日、スプルーズ国防相はポーランドを訪問し、ザレフスキ・ポーランド国防副大臣と会談した。同国防相は、「ラトビアとポーランドは、NATO と EU の対外国境の安全保障を担っている」と強調し、同会談では、ラトビアにおける NATO 多国籍旅団へのポーランドの参加、ドローン・コアリションの両国の協力、ウクライナへの支援提供について協議された。

◆スプルーズ国防相のウクライナ訪問

8 月 23 日、ウクライナ訪問中のスプルーズ国防相は、ミロレンコ・ウクライナ通信・情報保護局局長との会談で、サイバーセキュリティ分野における両国間の覚書に署名した。この覚書の終結により、ラトビアとウクライナの相互協力促進のための法的枠組みが構築され、サイバー防衛分野に特化した技術的・人的資源の活用が確保される。

◆リンケービッチ大統領のモルドバ訪問

8 月 27 日、リンケービッチ大統領は、カリス・エストニア大統領とナウセーダ・リトアニア大統領とともに、モルドバの独立記念日の祝賀行事に参加した。同訪問では、地域の安全保障とロシアのウクライナ侵略に関する問題が議論され、バルト三国の大統領らは、モルドバの EU 加盟を支持する共同声明に署名した。

◆スプルーズ国防相の英国訪問

8 月 28 日、イギリスを訪問中のスプルーズ国防相は、ポラード・イギリス国防政務官と会談した。同会談では、両国の協力関係やドローン・コアリションの枠組みで行うウクライナへの支援に関する現在の問題点について議論された。同国防相は、問題の改善のために、ウクライナ軍の現在のニーズに合わせて様々な性能のドローンを確実に提供できる

ようにするとともに、防衛・ドローン産業の能力と国際協力の強化をすると述べた。またこの訪問中に、ドローン産業フォーラムに参加し、両国のドローン産業に携わる企業と会談し、ドローン技術の革新についても理解を深めた。

◆ブラジェ外相の EU 非公式外相会合出席

8 月 29 日、ブラジェ外相は、EU 非公式外相会合に出席し、EU はウクライナに必要な支援を提供し、ロシアを最大限に封じ込めなければいけないと述べた。同会議には、クレーバ・ウクライナ外相も出席した。ブラジェ外相は、EU はロシアとベラルーシに対するあらゆる制裁の圧力を継続し、第 15 次の制裁に迅速に取り組むべきとし、G7 レベルでは、原油価格を制限するための解決策を考える必要があるとも指摘した。

◆ブラジェ外相の米国両院議員代表团との会談

8 月 30 日、ブラジェ外相は、ラトビアを訪問中のケリー米国上院議員率いる両院議員代表团と会談した。この訪問の目的は、ハイブリッドの脅威に対する強靱性や軍事力強化の必要性等、バルト三国の安全保障状況について調査すること。米国議会は、同地域の軍事力強化に重点を置く「バルト安全保障構想」に毎年資金を提供している。

— その他 —

【今月の注目記事】

◆男子ビーチバレー欧州選手権でラトビアは金メダルを獲得

8 月 13 日～18 日にオランダのハーグ、アルネム（Arnhem）及びアペルドゥーン（Apeldoorn）で開催された男子ビーチバレー欧州選手権でラトビアのマールティンシュ・プリャヴィンシュ選手及びクリスティアーン・ス・フォケロツ選手のペアは金メダルを獲得した。男子ビーチバレー欧州選手権でラトビアのペアが優勝するのは 2 度目。

◆政府関連機関等のウェブサイトサイバー攻撃

8 月 19 日～20 日頃にかけて、首相府を含む政府関連機関及び地方自治体等のウェブサイトがサイバー攻撃を受け、これらのサイトにアクセスできない又はアクセスするのに時間がかかる等の問題があった。

「Cert. lv」IT 技術問題防止機関によると、ラトビア全土において政府関連機関及び一部の民間企業のサイトに対する DDoS 攻撃（サーバーに対して一度に大量にアクセスして大きな負荷を与える攻撃）等が行われ、この結果、一部のサーバーはアクセス不能又はアクセスするのに非常に時間がかかる状況となり、今回の攻撃が 8 月 13 日のラトビア政府の決定（ウクライナに 30 台の車両を支援すること）に関連していると見ている。また、類似した攻撃は 2022 年から継続していて、バルト三国・北欧諸国及びポーランドは今後もロシアのサイバー攻撃の長期的なターゲットになると見ている。

◆ラトビアは独立以降のオリンピックで 2 度目のメダル獲得なし

7 月 26 日から 8 月 11 日まで開催されたパリ・オリンピックでラトビアはメダルを一つも獲得できず、ラトビアの 1991 年の独立以降、メダルを獲得できなかったのは 2016 年のリオデジャネイロ・オリンピックに続き 2 度目となった。

◆マイリス・ブリエディス選手はプロボクサーを引退

8 月 19 日、マイリス・ブリエディス選手はプロボクサーを引退すると自らの SNS に投稿した。同選手は 25 年間プロボクサーとして活躍し、2020 年から 2022 年は IBF 及び Ring タイトル、2017 年から 2018 年は WBC タイトル、2019 年は WBO タイトルを保持した。また、2020 年に World Boxing Super Series で優勝した。

◆ラトビアはパリ 2024 パラリンピックで金メダル 2 つと銀メダル 1 つを獲得

8 月 28 日から 9 月 8 日の間、パリ 2024 パラリンピックが開催され、ラトビアから 8 名の選手が陸上競技及び馬術等の競技に出場した。28 日に行われた開会式では、やり投のディアーナ・クルーミニャ選手及び馬術のリハルツ・スニクス選手がラトビアの旗手を務めた。

9 月 2 日、アイガルス・アピニス選手は F52 クラスの男子円盤投で 20.62 メートルを記録し、銀メダルを獲得した。

3 日、ディアーナ・クルーミニャ選手は F55 クラスの女子やり投で 24.99 メートルとパラリンピック新記録を更新し、金メダルを獲得した。同日、リハルツ・スニクス選手は馬術のグレード I の個人競技で初の金メダルを獲得した。

ラトビア主要経済指標

GDP

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	2024 Q2	出典
名目GDP	百万ユーロ	29,154	30,573	30,109	33,349	38,386	40,348	9,335	10,440	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP	ユーロ	15,135	15,980	15,840	17,710	20,351	21,444	-	-	公式統計ポータル
GDP実質成長率(※)	%	4.0	0.6	▲ 3.5	6.7	3.0	▲ 0.3	0.1	0.5	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP/EU平均	%	69	69	72	71	72	71	-	-	EU統計局

(※)前年同期比(原数値)

財政収支, 政府債務残高

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	2024 Q2	出典
財政収支	百万ユーロ	▲ 217	▲ 149	▲ 1,319	▲ 2,396	▲ 1,779	▲ 893	41	-	公式統計ポータル
財政収支対名目GDP比	%	▲ 0.7	▲ 0.5	▲ 4.4	▲ 7.2	▲ 4.6	▲ 2.2	-	-	公式統計ポータル
政府債務残高	百万ユーロ	10,784	11,209	12,869	14,809	16,039	17,581	18,043	-	公式統計ポータル
政府債務対名目GDP比	%	37.0	36.7	42.7	44.4	41.8	43.6	-	-	公式統計ポータル

失業率, 消費者物価上昇率, 月額平均賃金

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	2024 Q2	出典
失業率	%	7.4	6.3	8.1	7.6	6.9	6.5	7.2	6.9	公式統計ポータル
消費者物価上昇率	%	2.5	2.8	0.2	3.3	17.3	8.9	0.7	0.9	公式統計ポータル
平均賃金(グロス)	ユーロ	1,004	1,076	1,143	1,277	1,373	1,537	1,623	1,671	公式統計ポータル
平均賃金(ネット)	ユーロ	742	793	841	939	1,006	1,119	1,180	1,213	公式統計ポータル
最低賃金(月額, グロス)	ユーロ	430	430	430	500	500	620	700	700	公式統計ポータル

対内直接投資(FDI)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	2024 Q2	出典
海外直接投資残高	百万ユーロ	15,334	16,050	16,799	21,196	22,564	24,476	25,060	-	中央銀行

貿易統計

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	2024 Q2	出典
輸出(FOB)	百万ユーロ	12,773	12,966	13,305	16,452	21,334	19,047	4,792	4,385	公式統計ポータル
輸入(CIF)	百万ユーロ	15,793	15,914	15,159	19,519	26,496	23,407	5,203	5,323	公式統計ポータル
貿易収支	百万ユーロ	▲ 3,020	▲ 2,948	▲ 1,854	▲ 3,067	▲ 5,162	▲ 4,360	▲ 411	▲ 938	公式統計ポータル

日・ラトビア貿易(ラトビア政府統計)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	2024 Q2	出典
日本への輸出	千ユーロ	53,343	56,637	50,099	76,889	84,296	56,754	18,174	14,295	公式統計ポータル
日本からの輸入	千ユーロ	25,668	27,999	21,738	24,490	26,795	23,770	6,070	6,831	公式統計ポータル
対日貿易収支	千ユーロ	27,675	28,638	28,361	52,399	57,501	32,984	12,104	7,464	公式統計ポータル

日・ラトビア貿易(日本政府統計)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	2024 Q2	出典
ラトビアへの輸出	百万円	7,325	5,794	4,459	5,809	4,343	4,302	1,142	1,259	財務省統計
ラトビアからの輸入	百万円	8,847	8,868	8,650	10,088	16,770	10,559	2,979	3,048	財務省統計
対ラトビア貿易収支	百万円	▲ 1,522	▲ 3,074	▲ 4,191	▲ 4,279	▲ 12,427	▲ 6,257	▲ 1,837	▲ 1,789	財務省統計

両国間の訪問者数

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	2024 Q2	出典
ラトビア→日本	人	2,551	2,701	393	197	631	2,567	873	-	日本政府観光局
日本→ラトビア(宿泊統計)	人	29,534	20,416	2,358	396	1,229	3,166	590	1,361	公式統計ポータル

(注)ラトビアは2014年1月1日ユーロを導入した。2024年8月末現在、1ユーロ＝160円程度。

(2024年9月2日まで公表分のデータ)

2024年8月の主な出来事

	【内政】	【外交】
8月		1日、リンケービッチ大統領は駐スペイン・ラトビア大使等に信任状を授与
		7日ー7日、ブラジェ外相の「2x2」ディアスポラ・ユース・キャンプ参加
	13日、今年末までの国防費は対GDP比で3.2%	15日、メルバルデ外務政務官がインド商工会議所女性連合と会談
	19日、「モスクワの家」を競売に	20日、ラトビア国連代表部は武器貿易条約会議でセミナーを開催
	20日、財務省が策定した2025年予算等に関して協議	21日、スブルーズ国防相のポーランド訪問
		23日、リンケービッチ大統領の「バルトの道」35周年式典出席
		23日、スブルーズ国防相のウクライナ訪問
		24日、スブルーズ国防相のウクライナ独立記念式典出席
		27日、リンケービッチ大統領のモルドバ訪問
	28日、公務員給与の増加率は2.6%	28日、スブルーズ国防相の英国訪問
	29日、カリンシュ前首相は国会議員を辞職	29日、ブラジェ外相のEU非公式外相会合出席
	30日、政府はエア・バルティック社のIPOに関する条件に合意	30日、ブラジェ外相の米国両院議員代表団との会談